

備後東城

第27回お通り
令和元年
11月4日(月)
文化の日振替休日

東城小学校校庭

12時開演

街中行列 13:00～15:00頃

同時開催

東城まちなみ
ぶらり散歩ギャラリー

11月1日(金)～11月5日(火)
10:00～16:00

紅葉の帝釈峡

りんご狩り

秋の行楽は

庄原市東城町へどうぞ!



お通り

お通り公式ホームページ
<https://otori.info/>



お通り公式フェイスブック
<https://www.facebook.com/bingotojo/>



お通り（おとおり）

『お通り』とは、関ヶ原の戦いの後、慶長5年（1600）に、広島藩主となった福島正則の三家老の一人である長尾隼人正一勝が一万石にて東城の城主として着任しましたが、その際東城の秋祭の祭礼行列に武者行列を加えたのが始まりとされ、以来庄原市東城町に400年以上続く伝統文化行事で、東城・世直神社の秋祭行列に勇壮な武者行列が加わっていた行列のことを云います。

平成5年より、お通り実行委員会によるイベントとしてのお通りが、大名行列、武者行列、母衣（ほろ）・華童子（はなわらべ）の行列からなる、勇壮・華やかな時代絵巻として毎年十一月初旬にとり行われています。

母衣（ほろ）

『母衣』とは、もともと戦場で背後から飛んでくる矢を除けるための武具で、長尾隼人正一勝も戦場に赴く時には母衣を背負って出陣したと記録に残っています。また関ヶ原合戦図屏風（関ヶ原町歴史民俗資料館蔵）には母衣を背負ったその姿が描かれています。

その後、戦乱の世が去り太平の世となった江戸時代に、子供たちがこの母衣（ほろ）を背負ってお祭りの行列に参加することで、健やかに成長できますようにとの願いを込めました。そして装飾も次第に華やかになり、きらびやかな衣装とともに、現在まで受け継がれています。このような母衣は全国でも東城だけに残るとても貴重なものです。



交通のご案内

■お車

- ・大阪方面より中国自動車道で約3時間
- ・広島方面より中国自動車道で約1時間30分
- ・岡山方面より山陽自動車道で約2時間
- ・福山東ICより、国道182号線にて約1時間

■JR・高速バス

- ・JR芸備線東城駅下車
- ・大阪（梅田・新大阪）より高速バスで東城IC下車
- ・広島バスセンターより高速バスで東城駅下車

『お通り』に関するお問い合わせは

お通り保存振興会

〒729-5121

広島県庄原市東城町川東 1175 東城町商工会内

電話 (08477)2-0525・FAX(08477)2-3129